

行 ってこーわい 会 ってこーわい

「米田圭佑さん」

春の選抜で甲子園へ
主将、4番としてチームを牽引

No. 79

82年ぶりに21世紀枠として、春の選抜高校野球に出場した松山東高等学校。この東高野球部の主将として、4番として、チームを牽引したのが、岡田中学校出身の米田圭佑さんです。

野球を始めたのは、小学校1年生のとき。以来、ずっとキャッチャーを務めています。「自分だけ違う方向を見て、サインプレーで自分の考えを出すことができるから」と話す米田さんは、今のチームのことを「先輩のチームより能力は劣っていると思うけど、チームのまとまりでは負けません。ミーティングの時間を多くとって、話し合っています」と分析。チーム全体を考えて視野の広さを生かすキャッチャーで学んだことは、主将の役割でも発揮されています。

チーム全体のことだけでなく、個人での努力も欠かしません。「努力して乗り越えたときに野球の面白さがある」と話す米田さんは、チームの誰よりも多く素振りやバッティングの練習をして、売りとしているバッティングの技術を磨いています。

「自分でやってきたことは結果につながる。勝負できることが楽しみ」と話す米田さん。今回の甲子園は貴重な経験ができる通過点です。高校野球集大成の夏の大会でも甲子園に出場するため、野球の指導者になるという夢のため、努力を重ねていきます。



1. 笑顔を見せる米田さん 2. 開会式での入場行進の様子

▼編集後記

年が明けてあつという間に3カ月が経ち、新年度が始まりました。年のはじめは、気持ちの変化が中心になりますが、年度のはじめは環境の変化も伴ってきます。新しい学校、新しい友達、新しい仕事、新しい活動、新しい住まい……。皆さんそれぞれ違います。新しい仲間であることは違いありません。一緒に緊張しながら、そしてわくわくしながら頑張っていきたいと思います。

(松田)

今回の特集では、広報を通して60年を振り返りました。広報という記録をきっかけに、皆さんの記憶がよみがえる特集になっていればいいなと思います。

そして、町制施行60年目がスタートしました。60年目、ただの記録だけではなく、より多くの皆さんの記憶にも残っていくように、たくさんさんのイベントが準備されています。みんなで、記録にも記憶にも残る60年目をつくっていきましょう。(久保)

Proud! Japan

※日本水産加工振興会より

平成27年度

義農祭

義農作兵衛の
遺徳をしのんで

享保の大飢饉の際後世に麦種を残すため
自らの命を犠牲にして亡くなった
義農作兵衛をしのび義農祭を開催します。

日時 4月23日(木) 10時～

場所 義農公園

内容 式典、芸能発表、各種特産物などの即売

☎総務課企画政策係
☎985-4103

